

国際親善総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

受付番号 1308_09

研究課題名	アフリベルセプト 8mg の糖尿病性黄斑浮腫、加齢黄斑変性に対する治療効果および安全性の観察研究
研究の対象	2024 年 4 月から 2031 年 12 月までの期間に横浜市立大学附属病院、横浜南共済病院、国際親善総合病院、森眼科医院、とみおか眼科において、糖尿病性黄斑浮腫、加齢黄斑変性と診断され、アフリベルセプト 8mg 硝子体内注射を受けた 18 歳以上の患者さんを対象とします
研究目的・方法	<p>目的：</p> <p>糖尿病性黄斑浮腫、加齢黄斑変性症は、視力の低下を引き起こす代表的な病気です。これらの治療には、血管内皮増殖因子（VEGF）という物質の働きを抑える注射薬が標準的に使われています。近年、アフリベルセプトという薬剤の高用量製剤（アフリベルセプト 8mg）が登場し、従来の 2mg 製剤よりも治療効果の持続が期待されています。これにより、注射の回数を減らし、患者さんの負担を軽くできる可能性があります。しかし、アフリベルセプト 8mg の実際の診療における効果や安全性については、まだ十分なデータがそろっていません。特に日本人患者における詳細な情報が必要とされています。この研究では、アフリベルセプト 8mg による治療が視力や網膜の状態に与える影響、安全性、治療回数などを複数の医療機関の診療情報をもとに調べ、今後のよりよい治療方針の確立に役立てることを目的としています。</p> <p>方法：</p> <p>通常の診療で得られた診療情報および画像検査情報を利用します。これらの情報をもとに、治療前後の視力の変化、網膜の状態の変化、有害な副作用の有無などを確認します。対象となる患者さんに対して新たな検査や通院をお願いすることはありません。</p>
研究期間	委員会承認日 ～ 西暦 2033 年 03 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	<p>本研究では、診療録に記録された以下の情報を利用します。</p> <p>基本情報：年齢、性別、既往歴、過去の眼科治療歴</p> <p>視力情報：治療前後の視力の変化</p> <p>画像検査の結果：網膜の厚みや病変の状態など</p> <p>治療記録：治療回数、治療の間隔、合併症の有無</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません</p>	

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

社会福祉法人親善福祉協会国際親善総合病院

診療科（所属）名 眼科

研究責任者名 鎌田晃広

病院長名 清水 誠

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1

電話番号 : 045-813-0221（代表）

作成日 2025 年 9 月 25 日

国際親善総合病院